本書について

◆本書の目的

本書は、東京都の下水道技術に関する研究と開発の成果を共有し、将来へ技術を継承することを通じて、技術力の維持向上を図ることを目的として発行しています。

具体的には以下を目指して作成、発行するものです。

①東京都の下水道技術に関する技術情報を網羅し、共有することによって、東京都ひいては下水道界全体の技術力の維持向上と技術の継承及び技術的課題の解決の糸口となること

②東京都の下水道事業に関わる課題と課題解決への取組みの成果について、先駆的に情報発信を行い、産学公の技術交流を深め、東京都の事業運営の効率化に寄与すること

◆本書の構成

本書は、下水道技術に関する調査・研究・計画・設計・工事について概ね過去一年以内に局内外で発表、実施した成果をとりまとめたものです。各論文は、平成 28 年 2 月に策定した「経営計画 2016（東京都下水道局）」の経営方針に沿った３つの技術テーマ別（安全性・快適性の向上を図る技術、良好な水環境と環境負荷の低減を図る技術、維持管理の向上・事業の効率化などを図る技術）に分類して掲載しています。

１　安全性・快適性の向上・・・・・・・・・・・・・ 5 編
２　水環境向上、環境負荷低減・・・・・・・・・・17 編
３　維持管理向上、事業効率化他・・・・・・・・・ 3 編
４　国際会議発表論文・・・・・・・・・・・・・・ 5 編
計 30 編

◆本書の沿革・閲覧場所

本書は、昭和 52 年（1977 年）9 月の「技術調査報告書」を初版として、昭和 54 年度（1979 年）からは「技術調査年報」として毎年発行しており、2016 年版は 40 刊目にあたります。局内および都庁内の各局、研究機関、大学、政令指定都市等に 2005 年版まで配布していましたが、2006 年版からは東京都下水道局公式ホームページでの掲載を主体として利活用を図ることとし、各機関への冊子の配布を取りやめています。

本書や過去の技術調査年報の論文は、東京都下水道局公式ホームページに掲載しています。(http://www.gesui.metro.tokyo.jp/gijyutou/gn/gn.htm)

なお、都民情報ルーム(都庁第一本庁舎３階)、都立中央図書館、都立多摩図書館において本書を閲覧することができます。

◆本文中の用語

本文中の用語は、「下水道用語集　2000 年版」((社)日本下水道協会) に準拠しています。ただし、以下の用語は、東京都下水道局で使用している用語としています。

・人孔（マンホール）
・ポンプ所（ポンプ場）
・第一沈殿池（最初沈殿池）
・第二沈殿池（最終沈殿池）

（本書に関するお問合せ先）
東京都新宿区西新宿 2-8-1　東京都庁第二本庁舎 28 階
東京都下水道局　計画調整部　技術開発課　電話 03-5320-6606

＜参考資料＞　特許などの取得状況（産業財産権の件数）

東京都下水道局では職員が着想したアイデア、民間企業などとの共同研究や工事請負契約などから生まれた発明について、特許庁へ出願を行い、多数の産業財産権を取得しています。

下表は当局が所有している産業財産権の分野別の登録件数を示したもので、平成 27 年度末現在の登録件数は合計 113 件にのぼります。

下表以外で出願中の産業財産権が平成 27 年度末現在 20 件あり、登録済のものと合わせると、当局所有の産業財産権の件数は 133 件になります。

産業財産権　登録件数一覧（平成 28 年 3 月末時点）（単位：件）

部門	分野	特許	実用新案	意匠	商標	計
管きょ技術	管きょ	１６	1	2	0	１９
	雨水対策	2	0	0	0	2
管きょ技術計		**１８**	**1**	**2**	**0**	**２１**
維持管理	維持管理	１２	0	0	0	１２
	設備	２１	0	0	0	２１
	計測	7	1	0	2	１０
	環境	4	0	0	0	4
維持管理計		**４４**	**1**	**0**	**2**	**４７**
水処理技術	水処理技術	２６	0	0	0	２６
水処理技術計		**２６**	**0**	**0**	**0**	**２６**
汚泥処理技術	汚泥処理技術	１５	0	0	0	１５
汚泥処理技術計		**１５**	**0**	**0**	**0**	**１５**
有効利用	光ファイバー	1	0	0	0	1
	汚泥の資源化	1	0	0	2	3
	熱利用	0	0	0	0	0
有効利用計		**2**	**0**	**0**	**2**	**4**
合計		**１０５**	**2**	**2**	**4**	**１１３**